

令和 6 年度「レクリエーションの森」年間活動実績

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会

1 施設等の整備等

番号	施設名	林小班	面積	工種	施設の概要	設置主体名	備 考
1	ヤクスギランド 携帯トイレブース 目隠し板 ①	太忠嶽国有林 86い林小班	3㎡	新築	携帯トイレブース 目隠し板設置	屋久島レクリエーションの森 保護管理協議会	天文の森広場 近辺
2	ヤクスギランド 携帯トイレブース 目隠し板 ②	太忠嶽国有林 85い林小班	3㎡	新築	携帯トイレブース 目隠し板設置	屋久島レクリエーションの森 保護管理協議会	つつじ河原 東屋近辺

2 森林の景観対策等

作業名	林小班	面積	作業の目的等	実施主体等
なし				

3 その他

安全対策	① 新型コロナウイルス感染症拡散防止対策の励行。 (両地区管理棟に消毒液の設置、受付職員のマスク着用の励行等。) ② 協議会職員による巡視及び日誌への記載。 (歩道・危険木・手摺り・ロープ等の安全点検及び目視による著名木樹勢状況の確認。) ③ 現地及び案内板に危険場所の明示。 ④ 入口で利用者への注意喚起。 ⑤ ゴールデンウィークや夏期シーズン等に駐車場整理の人員配置。 ⑥ 危険木、倒木の措置。 処理 No.1・・・対象木の場所 ; 白谷雲水峡 発見年月日 ; 以前から要観察の枯木 樹種 ; ヒメシヤラ(枯木) 直径約 70cm 措置日 ; 令和 7年 1月30日 撤去者 ; 株式会社屋久林 ⑦ 防犯カメラの作動(白谷雲水峡管理棟;H28,1月～R6,8月まで、ヤクスギランド;H28,1月～) ⑧ AEDを両管理棟と白谷避難小屋に常設。 (ヤクスギランドH28,4～、白谷同年6月～、白谷避難小屋同年7月～) ⑨ 事務所・両地区管理棟・白谷避難小屋間で交信できる無線の常設。 [事務所・白谷間の現在の通信システムH25,11月～、ヤクスギランド間の追加,R元7月～ 白谷避難小屋追加R3,7月～R6,10月。 ※ システム名 ; 地域振興用陸上移動通信基地局通信システム] ⑩ ヤクスギランド森泉、白谷管理棟、白谷避難小屋に非常食・備蓄水の常設。 (3施設ともR元,9月～設置。R6,8月取替、各施設に非常食45食(5人×3食×3日)、備蓄水500ml×45本)
受益者負担の 収受・活用	① 収受 ; リーフレットの配布(英語版・韓国語版・中国語簡体字版・同繁体字版を含む)。 ポストカード付きチケット(領収書兼用)の配布。同チケットを改め名刺サイズを配布(ヤクスギランド団体用10/2～、同個人用12/27～)。 ② 活用 ; 遊歩道等施設の維持補修(協議会職員により、手摺り・同金具や踏み板・滑り止め交換またはぐらつき等の補修(随時))。リーフレット印刷(白谷雲水峡日本語版 8万部・英語版 3万部、同ヤクスギランド日本語版 5万部)。チケット印刷(ヤクスギランド個人用 2万部・団体用2 万部)。 トイレの維持管理。(両地区トイレ及び同仮設トイレ)
ソフト対策	① 夏休み親子森林教室の実施。 ア、実施日 ; 令和 6年 8月 4日(日) イ、場所 ; ヤクスギランド ウ、共催・後援団体 共催 ; 屋久島森林管理署、屋久島森林生態系保全センター、屋久島自然保護官事務所 後援 ; 屋久島町教育委員会 エ、参加者数 ; 6家族16名(大人6名、子供10名)、レク森及び共催団体よりスタッフ11名 ② レク森小中学生作文展の実施。 ア、募集期間 令和 6年 9月 2日～令和 6年 9月 30日 イ、共催・後援団体 共催 ; 屋久島森林管理署、屋久島森林生態系保全センター、屋久島自然保護官事務所 後援 ; 屋久島町、屋久島町教育委員会 ウ、学校別応募作品数 i 応募総数 ; 町内3中学校より 57作品、6小学校より 41作品、計 98作品 ii 学校別内訳 ; 中央中学校 19、安房中学校 2、岳南中学校 36、永田小学校 13、一湊小学校 3、宮浦小学校 9、小瀬田小学校 2、安房小学校 11、八幡小学校 3 エ、審査機関 i 一次審査 ; レク森協議会 ii 二次審査 ; 岳南中学校(国語科教諭) iii 三次審査 ; 屋久島森林管理署、屋久島森林生態系保全センター、屋久島自然保護官事務所 オ、展示 i 屋久島環境文化村センター交流ホール ; 令和 6年 11月 22日(金)～ 12月 5日(木) ii 安房総合センターロビー ; 令和 6年 12月 6日(金)～ 12月 19日(木) iii HPで全作品の紹介(審査発表、講評(屋久島自然保護官事務所) ; 令和 7年 1月

ソフト対策	③ 白谷避難小屋の維持管理及びトイレ尿の搬出。(搬出回数 14回、総搬出量4,040ℓ、対前年比 59.8%) (参考: 前年搬出回数 20回、同総搬出量 6,760ℓ) ④ ホームページの更新。(随時)
その他特記	① 歩道(登山道)の補修。(屋久島山岳ガイド連盟が行うレク森内の近自然工法による歩道整備の協力。) ② サポーター(アサヒビール(株))との共同ボランティア活動の実施。 ア、日時; 令和 6年 11月 9日(土) 12:00~14:00 イ、場所; ヤクスギランド ウ、参加者数; アサヒビール 15名、地元関係機関(屋久島森林管理署、屋久島森林生態系保全センター、屋久島自然保護官事務所、屋久島パークボランティアの会、鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所、公益財団法人屋久島環境文化財団、屋久島町、屋久島観光協会、同ガイド部会)24名、一般参加者その他(森泉ブランド開発研究会、ボランティア平和の会、観光客、報道機関、レク森協議会)13名、参加者総数 52名 エ、主な作業内容; 5班に分け 50分コースの木道・手摺りの苔落とし ③ 携帯トイレ試験運用の実施。 ア、実施日 i 実施予定1日め; 令和 7年 3月 15日(土) 増水により中止 ii 実施予定2日め; 令和 7年 3月 16日(日) 実施 イ、試験運用の内容 i 避難小屋の既存トイレを閉めて、小屋内にテント型携帯トイレブースと便座を男女各2セット設置。 ii 携帯トイレ利用の呼び掛けと使用希望者に携帯トイレの無料配布。(避難小屋) iii 携帯トイレ使用方法のレクチャー。(避難小屋) iv 使用後の携帯トイレを各自で管理棟前の回収ボックスまで運搬依頼。(避難小屋) v 入口で 避難小屋既設トイレを閉鎖し、携帯トイレ利用の案内。 vi 入口で全入林者へアンケート調査協力の呼び掛け(回答は帰宅後QRコードで23日(日)まで)。 ウ、使用状況等 i 実施日の入林者数 187名 ii 天気; 午前(雨)、午後(曇りとときどき雨) 気温; 10℃ iii 避難小屋で携帯トイレを配布した数; 27個、うち避難小屋での使用; 24 iv QRコードを使用したアンケートの回答数; 22名 エ、関係機関との打ち合わせ等 2月幹事会; 令和 7年 2月 26日(水) 於 屋久島離島開発総合センター第 1会議室 参加者; 11名
すべき事項	④ 携帯トイレ両地区園内利用普及の推進。 ア、白谷については、園内3箇所(奉行杉コース分岐1、辻峠辻の岩屋手前1、避難小屋前(木製))1)の携帯トイレブースの利用を呼び掛け携帯トイレを推進、管理棟で携帯トイレを販売。 令和 6年度白谷雲水峡の販売数; 1個入 52袋、2個入 51袋、計 103袋 (参考; R5年度 1個入 32袋、2個入58袋、計 90袋、) イ、ヤクスギランドについては、携帯トイレブースを 2箇所(天文の森、つつじ河原東屋近辺。)に新設。 携帯トイレブース設置日; 令和 6年 12月 20日(2箇所とも) 目隠し板の設置日(天文の森; 令和 6年 12月 16日、つつじ河原東屋近辺; 令和 6年 12月 17日) 目隠し板設置に係る事業の導入……2024年度国立公園基金助成事業(助成金; 280,000円) 新設した携帯トイレブースと既設の木製ブースを合わせた 3箇所の携帯トイレブースの利用を呼び掛け携帯トイレを推進、管理棟で携帯トイレを販売。 令和 6年度ヤクスギランドの販売数; 1個入36袋、2個入 105袋、計 141袋 (参考; R5年度 1個入 26袋、2個入71袋、計 97袋) 令和 6年度両園の販売数; 1個入88袋、2個入 156袋、計 244袋(対前年比; 130.5%) (参考; R5年度 1個入 58袋、2個入129袋、計 187袋) ⑤ 屋久島山岳部保全利用協議会及び屋久島町エコツーリズム推進協議会との連携。 白谷雲水峡から奥岳へ登山されるお客様に「世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金の声掛けを行う。 ⑥ 職員の救命処置(心配蘇生法、AED)研修の実施。 実施日; 令和 6年6月28日、場所; 役場議会棟屋久島ホール 講師; 屋久島北分遣所職員 参加者 8名 ⑦ 両地区に仮設トイレの設置。(各3基、ヤクスギランド H 30.3月～、白谷同年 6月～) ⑧ 図書「屋久島で使える手作り図鑑」の販売。(H 29.4月～、R6年度販売数 60冊) ア、ヤクスギランド売店での販売数; 34冊 イ、白谷雲水峡での販売数; 16冊 ウ、事務局での販売数; 10冊 エ、販売総数; 60冊 ⑨ 白谷小屋し尿仮置きバケツ一部コンポスト化の試行。 コンポストに投入した大便の総量 65ℓ(投入7回)、コンテナに投入した尿の総量 9ℓ(投入5回) ※⑩ ミニ水力発電施設使用不可による代替電源、大容量バッテリー電源の導入。 ミニ水力発電の停止 令和 6年 8月 23日、大容量バッテリー電源の使用開始 令和 6年 10月 9日 ※⑪ 令和 6年台風10号被害対策 ア、幹事会の開催; 令和 6年 9月 17日 出席者数 12名 イ、弥生杉の倒伏他被害状況報告 ウ、弥生杉コース・奉行杉コース・さつき吊橋の当面の閉鎖の確認と飛流橋から太鼓岩往復迂回路コースの承認、ガイド有志の協力を得て9/18に安全点検・歩道整備のため閉園(県道はこの日早朝から

